

平成27年10月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 10月の定期的・計画的な調査・駆除は、東区117件、博多区22件、早良区12件、福岡市外の本市管理地1件、計152件であった。このうち東区、博多区、中央区、市外管理地でセアカゴケグモが発見された。
2. 10月の発見・通報に伴う駆除は、セアカゴケグモが、東区で17件41匹であった。
3. 10月の駆除匹数は、セアカゴケグモ10月768匹で、9月733匹で、8月の799匹と同程度で推移している。前年(H26)の同時期(例年駆除匹数が多い時期)のセアカゴケグモ駆除匹数は、8月1,284匹、9月1,715匹、10月1,418匹であり、前年と比較するとおおよそ半減した。また、前々年(H25)の同時期のセアカゴケグモ駆除匹数は、8月3,358匹、9月2,567匹、10月1,666匹であり、年々同時期の駆除匹数が減少していることから、計画的駆除の効果が表れていると考えられる。
4. 10月の卵のうの駆除個数は625個で、9月401個、8月564個に比べ増加した。(3か月合計1,590個)過去2年間においても8月から11月は卵のうの駆除数が増加する時期であり、H27も同じ傾向であった。H26は、成体の駆除数はH25に比べ半減したものの卵のうの駆除数はそれほど減少しなかったが、H27はH26に比べ大幅に減少しており、計画的駆除の効果が表れていると考えられる。ただし、月ごとの駆除数を見ると26,27,28年で異なる傾向となっており、現時点では要因については不明である。(H26の卵のう駆除数:8月668個、9月1,025個、10月1,280個、3か月合計2,973個)
5. セアカゴケグモの全駆除匹数に占める公園・緑地での駆除匹数の割合は10月59%で、9月59%、8月62%と同程度で推移している。